

平成 26 年度第 6 回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要	
開催日時	平成 26 年 09 月 22 日 16 時～16 時 35 分
開催場所	小山田記念温泉病院第 3 会議室
出席委員	毛受、森、北村、山中、牧野、伊藤、浅野、家崎、中山（敬略称、順不同）
新規研究計画の審議	
申請者	水谷 智恵美
研究名	健常成人におけるエルゴメータ駆動時の姿勢の違いが呼吸循環応答に与える影響
研究内容 要旨	運動の負荷量を決定する際の運動負荷試験の姿勢とベッド上でエルゴメータを駆動する際の姿勢に相違が多々あるが、運動中の姿勢の違いが呼吸・循環応答に与える影響の調査は少ない。 そのために、健常者における、運動中の姿勢の違いが呼吸・循環応答に与える影響を理解し、影響を明らかにする。
審議結果	承認
意見	・ 研究に参加した人に研究結果を伝えることについて 他の研究参加者の個人情報保護に支障のない範囲内で行うことを、説明書に記載する。
新規研究計画の審議	
申請者	東内 昭子
研究名	食事介助の基礎介護技術の習得調査～職員の疑似体験を通して～
研究内容 要旨	治療と同様に食事は重要であり、日々病状の変化がある患者に安全に食事を提供するために基礎介護技術が求められる。経験年数の違いで基礎介護技術の習得度合いの差を検証し、疑似体験をして介護者としての視点や技術の必要性を研究する。
審議結果	承認
意見	特になし
新規研究計画の審議	
申請者	岡本 峰生
研究名	当院回復期入院中と退院後の在宅生活における身体活動量の比較と身体機能の関連性～3 軸加速度センサ搭載の活動量計を用いて～
研究内容 要旨	回復期入院中の患者はリハビリやアクティビティで身体活動量が確保されているが、退院後には身体機能・心理面・環境変化に伴い活動量が減少すると考えられる。 そのため、活動量計を用いて入院生活と在宅生活における身体活動量の変化を測定し、身体機能との関連性を検討する。
審議結果	承認
意見	特になし

新規研究計画の審議	
申請者	島崎 博也
研究名	機械浴（寝湯）における加温効果と末梢血流量の検討
研究内容 要旨	座位保持の困難な方が機械浴の入浴をしているが、機械浴（寝湯）にて入浴を実施した際の身体状況の変化、温まりや保温効果がどのように変化していくのかを入浴時間の違い（40℃5分入浴／40℃10分入浴／41℃5分入浴）を含めて検証する。
審議結果	承認
意見	特になし
付議不要と判断された研究計画の報告	
申請者	泉沢 祐樹
研究名	当院回復期病棟における入院時訪問導入前後の在院日数、FIM 効果、FIM 改善比較検討
付議不要と判断された研究計画の報告	
申請者	餘語 美和子
研究名	当院外来における患者接遇の現状 外来看護師の自己評価と患者評価を比較して
付議不要と判断された研究計画の報告	
申請者	小崎 琢也
研究名	当院回復期リハビリテーション病棟における作業療法士の早朝リハ介入の経過と報告